

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	コロナ禍が広島安佐地区胃がん ESD/EMR 地域連携クリニカルパスに与えた影響
研究責任者 (所属科名)	永田信二 消化器内科 主任部長
本研究の目的・意義	COVID-19 流行による受診抑制により新規の早期胃癌患者数が減少したため、過度な受診抑制は行わずに適切なタイミングで検診・医療機関を受診することが重要であると本邦から報告されました。当院では早期胃癌内視鏡治療後の患者様に対し適切な経過観察を行うため、広島安佐地区胃がん ESD/EMR 地域連携クリニカルパス（以後連携パス）を作成し、2011年7月より運用しています。 本研究で COVID-19 流行が、連携パスの運用に与えた影響について明らかにいたします。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2011年7月～2021年12月 研究期間：2023年3月までを予定しています。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2011年7月～2021年12月までに安佐市民病院消化器内科にて早期胃癌に対して内視鏡治療を実施された方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	当院単独で行う臨床研究ですが、内視鏡治療後より経過の追えない患者様に関してかかりつけ医に問い合わせを行う場合がございます。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院

	研究担当者：消化器内科 部長 朝山 直樹 電話：082-815-5211
備考	